



平成28年2月5日

会 社 名 株式会社 栗本鐵工所
 代 表 者 名 代表取締役 社長 福井 秀明
 (コード番号 5602 東証第一部)
 問 合 せ 先 総合企画室長 生越 勝弘
 (TEL. 06-6538-7719)

特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成28年3月期において特別損失の計上を行うとともに、平成27年5月12日に公表しました業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

－ 記 －

1. 特別損失の計上について

平成27年8月27日に開示しました「確定拠出年金制度の導入に関するお知らせ」に記載の通り、確定拠出年金への一部移行に伴う未確定の影響額について、平成28年3月期第3四半期において521百万円を特別損失として計上いたします。

2. 業績予想数値の修正

平成28年3月期 通期 連結業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成27年5月12日発表)	百万円 105,000	百万円 4,000	百万円 3,500	百万円 3,000	円 銭 23.22
今回修正予想(B)	100,000	2,500	2,000	1,600	12.38
増減額(B-A)	△ 5,000	△ 1,500	△ 1,500	△ 1,400	
増減率(%)	△ 4.8	△ 37.5	△ 42.9	△ 46.7	
(ご参考)前期実績 (平成27年3月期)	98,394	2,925	2,553	1,598	12.34

3. 修正の理由

平成27年度通期の連結業績予想につきましては、売上高におきまして、鉄管部門を中心に、建材部門、化成部品部門で出荷が減少したことが影響し、計画を下回る見込であります。

利益面におきましては、鉄管部門を中心とした減収による減益及び、比較的利益率の高い製品群の減収に加え、発注量が減少した事による競争激化も影響し営業利益、経常利益とも計画を下回る見込であります。また、親会社株主に帰属する当期純利益におきましては、特別利益として投資有価証券売却益を計上しましたが、上記の通り確定拠出年金への一部移行に伴う特別損失の計上に加え、法人税率変更に伴い、法人税等調整額を精査した事により計画を下回る見込であります。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、最終の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上